

令和6年 年頭所感

「誰もが笑顔で幸せを感じるまち」に向けて



桶川市長
小野 克典

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、「ポストコロナ元年」が幕を開け、祇園祭や市民まつりをはじめ、様々な地域行事が以前のように本格的に再開されました。しかしその一方で、自治会役員の高齢化と人々のライフスタイルや価値観の変化により、地域によっては、これまで行ってきた行事が再開しにくい状況が続くなど、多くの課題も

浮き彫りとなってきました。また、コロナ禍が収束した矢先にインフルエンザが猛威を振るうなど、改めて感染症との闘いの厳しさを感じた年でもありました。

更に、コロナ禍やロシアによるウクライナへの軍事侵攻に端を発した物価やエネルギー価格の上昇が、現在もなお、市民生活や地域経済に深刻な影響を及ぼし続けており、地方自治体も、こうした国際情勢やグローバルな経済状況等、世界の変化にも目を向けながら、しっかりと地域のニーズを捉えた施策を実施していくことが求められています。

また、近年、少子高齢化や人口減少が進展し、市税収入が鈍化するとともに、高齢化に伴う社会保障経費の増大により大変厳しい財政局面が続いておりますが、こうした厳しい状況の中にあっても、長期的に安定した行財政運営を進めていかなければなりません。更には、SDGs

の推進やデジタルトランスフォーメーション、激甚化・頻発化する災害への備えなど、多くの課題に対しても創意工夫を凝らしながら、しっかりと対策を進めて行く必要があります。

本年も、駅東口整備や企業誘致事業、道の駅整備事業（令和7年3月開業予定）など、市民の皆様の利便性の向上や市の魅力発信、産業振興等につながる事業を引き続き進めるとともに、ごみ処理施設整備や子育て、教育、医療、福祉など、幅広い分野にわたりハード・ソフト両面から市民の皆様が安心と幸せを実感できる住みよいまちづくりを一層推進してまいりますので、市民の皆様には、今後とも市政運営に對しまして変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして良き一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

学び豊かな笑顔あふれる
幸せ未来都市おけがわをめざして



桶川市議会議長
佐藤 洋

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年秋季の市議会議員一般選挙におきまして、20代30代の若い候補者が果敢に挑戦し議席を得ました。特に女性の躍進が目覚ましく、男女比率も1対8になり県内でも注目を集めました。この事は「多様性」を認め合う民主主義の第一歩と考えます。

このような中、私は、昨年12月議会において、議員各位からご推挙をいただき、歴史と伝統ある桶川市議会の議長という重責を担うこととなりました。微力ながら岡安副議長と二人三脚で、「学び豊かな笑顔あふれる幸せ未来都市おけがわ」の実現に専心努力してまいりますので、市民の皆様のご支援をお願い申し上げます。

令和元年4月から働き方改革関連法案が順次施行され、令和6年4月からは、物流業、建設業、医療業などの残業時間の上限規制が始まります。事業者は従業員の健康とワークライフバランスのために適切な労働時間管理や待遇改善に取り組み、業界の持続的な発展を目指します。多様な働き方を選択できる社会を実現することで、一人ひとりがより良い将来の展望を持てるようにすることを見据えたものです。

本市におきましても、第六次総合計画のもと、

一人ひとりの尊厳や人権を尊重し、あらゆる世代が共に支え合いながら、未来への夢と希望を持って暮らすことができるまちづくりを進めます。

今年の干支である「甲辰」は、勢いを増しながら成長する、力溢れる年になると言われています。

本市も「甲辰」の文字のように更なる発展・躍進ができますよう市議会といたしまして、社会情勢の変化を的確に捉え、市民の皆様を市政に反映させるべく、様々な課題に対し全力を傾注してまいります。

市民の皆様におかれましては、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新しい市議会議員の皆さんです

議長に佐藤洋さん、副議長に岡安政彦さん

詳しくは☎議会事務局
☎788-4963

11月19日(日)に行われた桶川市議会議員一般選挙で、次の19人が選出されました。

※左から横に議席順、敬称略、()内は1月1日現在の年齢、○は当選回数、住所



仲又 清美 (62歳)
公明党⑤
未広



渡邊 広美 (58歳)
公明党①
未広



渡辺 まや (33歳)
無所属①
南



砂川 和也 (48歳)
無所属②
川田谷



北村 あやこ (73歳)
無所属⑨
寿



岩崎 隆志 (64歳)
公明党④
川田谷



榎 萌美 (28歳)
無所属①
南



須山 陽一郎 (35歳)
参政党①
坂田西



近本 あんな (34歳)
国民民主党①
若宮



細谷 文人 (30歳)
日本維新の会①
鴨川



糸井 政樹 (62歳)
無所属④
泉



岡安 政彦 (59歳)
無所属③
寿



浦田 充 (31歳)
無所属②
若宮



山中 敏正 (59歳)
無所属②
川田谷



岡野 千枝子 (67歳)
無所属③
若宮



佐藤 洋 (75歳)
立憲民主党⑤
西



にいつま 亮 (41歳)
立憲民主党③
坂田西



江森 誠一 (66歳)
無所属④
上日出谷南



渡邊 光子 (76歳)
無所属⑥
泉

道の駅の名前を決めよう！投票をお願いします



11月に実施した名称応募では、451件ものご応募をいただき、ありがとうございました。その中から、上位の名称候補を選出しました。
下記の名称候補の中から、一番多くの票を集めたものを、道の駅の名称として決定します。皆さんふるってご投票ください！

この中から
1つ選んで
投票ベに♪



(五十音順)

名称候補

道の駅「おけがわ」

道の駅「おけがわじゅく桶川宿」

道の駅「ばなじゅくべに花宿おけがわ」

道の駅「ばな さとべに花の郷おけがわ」

道の駅「リンクテラスおけがわ」

選考の
ポイント

桶川の魅力が
伝わる

覚えやすい

多くの人に
親しまれる

投票期間
1月6日(土)~2月8日(休)

投票資格
市内在住・在学・在勤の人
(投票は1人1票まで)

投票方法
投票用紙に必要事項を記入のうえ、

- ①道の駅整備課までメール
 - ②右記施設に設置される投函箱に投函
- いずれかの方法により、投票してください。

投票用紙は、市ホームページ、または右記施設から入手できます。
※投票に関する詳細は、募集要項をご確認ください。

募集要項や投票用紙は
こちらから

投票用紙・投函箱設置施設

市役所、保健センター、駅前子育て支援センター、日出谷子育て支援センター、市民活動サポートセンター、勤労福祉会館、農業センター、川田谷生涯学習センター(1/9から設置)、桶川公民館、桶川東公民館、加納公民館、坂田コミュニティセンター、中央図書館、地域福祉活動センター、サン・アリーナ、市民ホール、べに花ふるさと館、桶川飛行学校平和祈念館、桶川市商工会、中山道宿場館

「フードドライブ」へのご協力 ありがとうございました

詳しくは☎
環境対策推進課
☎657-8884

食品ロス削減を推進するとともにひとり親家庭などへの支援を目的として、「食品ロス削減月間(10/2~31)」に各家庭で使いきれない未利用食品などを募り、必要とされる人へ提供する「フードドライブ」を実施し、合計473点(重さ約250kg)の食品が集まりました。集まった食品は、社会福祉協議会を通じ、子ども食堂などに提供され活用されます。ご協力、ありがとうございました。

写真左から桶川市長、桶川市社会福祉協議会会長▶



「フードドライブ」受付窓口開設のご案内

令和6年1月から「フードドライブ」の受付窓口を環境対策推進課に開設します。

受付時間は平日の午前8時30分~午後5時15分です。

家庭に使いきれない未利用食品などがありましたらお持ちください。



寄付の対象となる食品

- ①賞味期限が明記されていて、2か月以上の期限が残っているもの
- ②常温保存が可能なもの
- ③未開封の市販品で、包装などが破けていないもの

【例】市販されているお米、レトルト食品、缶詰、乾麺、飲料(お茶、ジュースなど)、カップ麺、菓子類、乳幼児食品など

市内の子ども食堂を紹介します

詳しくは☎子ども未来課☎788-4944

子ども食堂

無料または安価で食事や居場所を提供する活動です。社会福祉協議会や地域のボランティアが運営しています。

名称	開催地区
みんなの食堂 しゃきょう食堂	末広2丁目
子ども食堂 おけがわ西口レストラン	鴨川1丁目
おけがわみんなの食堂「輪空」	大字川田谷
桶川子ども食堂かつかつ亭	大字加納
子ども食堂 かのうの森	坂田東2丁目



フードパントリー

ひとり親家庭など、生活に困っている人に食料品を無料で配布する活動です。

名称	開催地区
桶川フードパントリーかのうの森	大字加納

子ども食堂・フードパントリーの詳細についてはこちらから。

